



← 過去のサンワチャンネル
はこちら

スマホの設定を見直してみましょう

総務省が公表しているスマートフォンの世帯保有割合（令和7年度）によると、91.8%の世帯が所持していると言われています。アップデートの度に機能が追加されるのは良いことですが、使用していない機能やアプリに通信量がかかっているなんてことも…。今回は、通信量の節約方法やちょっと便利な機能をご紹介しますので、ご自身やご家族の設定を見直すきっかけになればと思います。

機能

【#】で簡単タグ付け管理 **iPhone**

SNS でお馴染みのハッシュタグ「#」をメモの中に付けることでアプリの下部にタグ一覧が表示されます。検索欄で検索してもヒットしづらいことが多いため、過去のメモを探すのに大変便利です。

メモ同士のリンク

半角で【>>】と入力すると、最近使ったメモから順番にリンク候補が表示され、メモの中に別のメモのリンクを貼り付けられます。



iPhone・Android別 チェックポイント

ここでは利用者が多い iPhone と Android をメインにご説明します。

共通

- ・バッテリー充電の【オン】または【最適化】 **ON**
リチウムイオンバッテリーは 100%の状態でも長時間放置されると劣化が早まるため、フル充電の状態を長く維持しないように充電を制御してくれます。
※生活リズムが不規則な場合はフル充電の時間にばらつきが出ますので、充電の上限を 80～95%に設定し劣化対策するのがおすすめ（iPhone15 以降、Android は一部端末のみ）
- ・位置情報は【使用中のみ】または【しない】 **OFF** **X**
位置情報サービスは特に多くの電力を消費します。「常に許可」は移動するたびに GPS を作動させ続けるため、スマートウォッチ管理アプリやラジオ以外は【使用中のみ】がおすすめです。

プライバシー保護の観点からもオススメ

Android

- ・【自動調整バッテリー】をオン **ON**
AI を活用して使用頻度の低いアプリのバックグラウンド更新を制限します。使用頻度の学習が必要なため、1 週間程度経過すると効果が出るようです。

iPhone

- ・バックグラウンド更新を【Wi-Fi のみ】 **ON**
多くのアプリが開いていない時もデータ更新を行い、最新の情報を取得しています。SNS やナビアプリなど、常時情報更新が必要なアプリ以外は【Wi-Fi のみ】にすることで外出時の更新が停止し、バッテリーが長持ちします。

【引用元：NTT ドコモ イチオシほか】

迷惑電話にはコレ

昨今問題となっているのが特殊詐欺電話の増加です。1 日に何度も不要な着信やメッセージが届いて困っている方も多いのではないのでしょうか。着信後に調べて着信拒否をするのもいいですが、そもそも犯人からの電話を直接受けないためには、犯人が使う電話番号（国際電話を含む）をアプリでブロックする対策が有効です。ここでは警察庁推奨のアプリをご紹介しますので、是非お手元のスマホで公式 HP を確認してみてください。

※ダウンロードはご自身の判断で行ってください

警察庁推奨アプリ

ダウンロード・利用料ともに無料



主な機能（全アプリ共通）

- 01 国際電話番号の発着信一括ブロック・警告 **Android のみ**
- 02 特殊詐欺等の犯行に利用された番号（国際電話番号を含む）の発着信ブロック・警告 **Android、iPhone**
- 03 警察庁から特殊詐欺に関する防犯情報のお知らせ **Android、iPhone**
- 04 民間事業者の最新技術等の活用 **Android、iPhone**

発行元：税理士法人 三和会計事務所